

ツアー番号
LKXB8CMGGH

世界の感覚（14日間）

14日間・13泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーはスリランカの標準的なルート全体を走行し、西海岸から古代の文化三角地帯を通り、丘陵地帯へ上がり、南部の国立公園と海岸を横切り、出発のためにコロンボに戻ります。島の主要な歴史的遺跡と野生動物サファリ、村での体験、紅茶とスパイスの国、そして南海岸での延長滞在を組み合わせており、単一の連続したルートで国の幅広い断面を提供します。

途中、旅行者はダンブッラの洞窟寺院とシギリヤの岩の砦を訪れ、ポロンナルワの遺跡を歩き、ミンネリヤとヤラ国立公園でサファリに行きます。丘陵地帯では、ツアーは紅茶工場、ヌワラ・エリヤの町、ホートン・プレーンズ、そしてナイン・アーチェス橋を含むエッラ周辺の散策スポットを訪れます。ウナワトゥナでの複数晩の滞在がツアー後半を支え、日帰りオプションではガレ城塞、ウミガメ保護、シルク漁師、クジラ観察を選択できます。その後コロンボに戻ります。

ペースは急ぐのではなく着実であり、文化三角地帯と丘陵地帯での1泊の停留所はキャンディ、ヌワラ・エリヤ、ヤラ、ウナワトゥナでの長期滞在のバランスが取れています。このツアーはプライベートでシャフォーガイド付きの旅として運営されています。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸のネゴンボから始まります。この町は昔から続く漁業とビーチで知られています。



ネゴンボ・ビーチ

スリランカ西海岸に広がる砂浜で、何世紀も続く漁業が今も営まれています。マリンスポーツやダイビングも楽しめ、沖合に沈む築50年の難破船周辺に広がるサンゴや海洋生物を見に行くツアーもあります。

AI生成画像・実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → ダンブッラ → シギリヤ

ルートは内陸のカルチュラル・トライアングルへと進み、シギリヤへ向かう途中でダンブッラの石窟寺院に立ち寄ります。



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にまで遡る歴史的な洞窟群で、「ダンブッラの黄金寺院」として知られています。5つの主要な洞窟には、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や数百体の仏像・神像が収められており、「神聖な王の洞窟」や「大王の洞窟」などがあります。洞窟群から少し離れた場所には巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

3日目 シギリヤ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → シギリヤ

この日は古代都市ポロンナルワの観光と、ミンネリヤ国立公園でのサファリを巡る日帰り旅です。



ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて栄えた、スリランカ第2の古代都城の遺跡です。主な見どころには、ガル・ヴィハーラ、ヴァタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、そしてこの都市の黄金期を築いたパラークラマバーフ王の像などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

低木林と森林が広がる公園内をサファリで巡り、ゾウをはじめとする様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を観察できます。5月から10月の乾季には、150頭を超えるゾウが一か所に集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」が見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

4日目 シギリヤ → マータレー → キャンディ

この日はシギリヤ・ロックの登頂と村の暮らし体験に加え、キャンディへ向かう途中でスパイスガーデンにも立ち寄ります。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王が築いた岩上の要塞で、一対のライオンの爪を模した階段から入ることから「ライオン・ロック」と呼ばれています。登る途中には色褪せない古代の壁画、段々畑の庭園、今も使われている貯水池、そして頂上の宮殿へと続く通路があります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村の暮らし体験

牛車に乗り、穏やかな湖をカタマラン船で渡った後、収穫期を迎えた水田を歩いて巡ります。伝統的な料理の実演でスリランカ料理の基本を学び、薪火で作られた家庭料理をハスの葉に盛って味わいます。

ユーフォリア・スパイス&ハーバル・ガーデン

スリランカのスパイスの都マータレー近くにあるスパイス&ハーブ園で、香りと効能をそのまま保つ熱帯の気候の中で植物を栽培しています。ガイド付きのスパイスツアーでは、スリランカのスパイスやハーブ、アーユルヴェーダの使い方を複数言語で解説してもらえます。

5日目 キャンディ

キャンディでの1日は、王立植物園、仏歯寺、そして夜のカルチュラルショーを巡ります。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に造られた広大な庭園で、ランやスパイス、薬用植物を含む4,000種以上の植物が育てられています。大砲のような実をつけるカノンボールツリーや吊り橋、迷路のような植え込み、珍しい大木の並木道も見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



仏歯寺

仏陀の聖なる歯の遺物を安置・保護するために16世紀に建てられた、ユネスコ世界遺産です。寺院内の回廊や広間は赤、クリーム色、黒で彩られ、彫刻が施された柱や黄金の仏像が随所に見られます。

A.Savin · FAL



キャンディ・カルチュラルショー

スリランカの伝統芸能を1時間にわたって披露する夜の公演で、火を使った踊りや剣舞、太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンスなどが見られます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

6日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

ルートは高原地帯へと登り、紅茶工場に立ち寄った後、ヌワラエリヤへ到着します。

紅茶工場とプランテーション

セイロンティーの製造工程を見学します。茶の木はイギリス人によって初めてセイロンに持ち込まれ、1824年にペラデニヤの王立植物園に植えられました。1852年にはジェームズ・テイラーがキャンディ近郊のルーレコンデラ農園で商業的な茶栽培を始め、セイロンティーは今日もその品質の高さで知られています。



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけてイギリス人の最高級避暑地として栄えた高原の町で、コテージや別荘、邸宅が並ぶ街並みが残っています。赤れんが造りの古い郵便局、クイーンズ・ビクトリア・パーク、グレゴリー湖の湖畔などが観光スポットです。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

7日目 ヌワラエリヤ → ホートン・プレインズ → ヌワラエリヤ

草原、雲霧林、展望ポイントが魅力のホートン・プレインズ国立公園への日帰り旅です。



ホートン・プレインズ国立公園

オヒヤ近郊にある高原草原と雲霧林の国立公園で、「ワールズ・エンド」と呼ばれる断崖からの絶景や、ベイカーズ・フォールズの水しぶきを楽しめます。この草原には固有種の動物や考古学的に興味深い遺跡も点在しています。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

8日目 ヌワラエリヤ → エッラ → ヤラ

ルートはエッラの茶畑地帯とハイキングコースを抜け、ヤラへと続きます。



リトル・アダムズ・ピーク

鮮やかな緑の茶畑と岩場を歩き、周囲の高原地帯を見渡せる絶景スポットへと向かいます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナインアーチ橋

建設にまつわる歴史を持つ植民地時代の鉄道橋で、エッラのウォーキングルートの一部として橋の上を歩いて渡ります。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

線路がループして立体交差する独特の構造で知られる駅で、エッラのウォーキングルートの終点となります。

A.Savin · FAL

9日目 ヤラ

ヤラ国立公園で終日サファリを楽しみます。



ヤラ国立公園

スリランカ南東部の海岸沿いに位置する、国内2番目に大きな国立公園です。スリランカヒョウ、固有種のワイルド・ウォーター・バッファロー、スリランカナマケグマ、大規模な群れをなすスリランカゾウなど、数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物が生息しています。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

10日目 ウナワトゥナ(10日目~12日目)

南海岸のウナワトゥナで3日間を過ごし、ビーチでのんびりしたりマリンスポーツを楽しんだりします。



ウナワトゥナ・ビーチ

スリランカを代表するビーチの一つで、柔らかな砂浜と海風が心地よく、周囲には高級リゾートホテルが並びます。ビーチにはウミガメが産卵のために訪れ、ジェットスキーやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツも楽しめます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

13日目 ウナワトゥナ

植民地時代の要塞と博物館を巡る、近郊の都市ゴールへの日帰り旅です。



ゴール要塞

ポルトガルとオランダの統治時代にこの地が拠点とされていた頃に築かれた、アジアでも最も保存状態の良い要塞の一つです。要塞内には海洋博物館、ゴール国立博物館、灯台があり、今もオランダ時代の名前が残る石畳の通りが続いています。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

14日目 アハンガマ → コロンボ → バンダラナイケ国際空港

ツアーの最後はコロンボ市内観光の後、空港へ向かいます。道中では南海岸沿いの立ち寄りスポットも選択できます。



コロンボ市内観光

スリランカの首都を巡る観光で、旧灯台、旧国会議事堂、ガレフェイス・ホテル、ガレフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった歴史的建造物に加え、独立記念広場、レースコース、ブティックやデザイナーズショップでの買い物も楽しめます。

Gihanud2001 · CC0

レカワ・ウミガメ保護センター

スリランカの海岸に産卵に訪れる、絶滅危惧種である5種のウミガメについて学ぶ夜のウォッチングツアーです。数時間ほど保護センターでのボランティア活動に参加し、ウミガメが上陸する様子を観察する機会もあります。



コガラの高床式漁師

コガラ海岸沿いで、杭の上に座って行う伝統的な漁の様子を見学します。何世代にもわたりこの技術を受け継いできた漁師たちから話を聞き、その技を学べるほか、夕暮れ時には絶好の撮影スポットにもなります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ホエールウォッチング

南海岸からボートに乗り、シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを自然の生息地で観察します。経験豊富なナチュラリストガイドが同行し、責任ある観察方法や種の見分け方を解説してくれます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- Entry Visa Fees
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.